

1000万のたましいを呼び覚ます

「色のすること」～ Tour of WE ROAD～

美術作家 植田志保「ウイロード」改修にあたり アート空間を制作 2019年春より公開制作も



美術作家の植田志保は、豊島区の池袋駅 東口と西口をつなぐ隧道「ウイロード」改修事業に際し、全体のアートワークを担う運びとなりました。豊島区の歴史と文化を色に映し出すアート空間を制作します。この土地の歩みを感じることができる、77mに及ぶ空間にて、植田は、来年春より公開制作をおこないます。ウイロードの躯体が5つで構成されていることから、豊島区の歴史と文化を「五行説」になぞらえ、天面・壁面・入り口・アプローチに、時間軸を交え、異なる世界を、色を、描き、物語へと映し出していきます。また、ウイロードを1日に通行される方は3万～4万人、年間で約1000万人の方々が通行されます。また、人間の目は、1000万の色を識別できると言われていることから、1000万のたましいを呼び覚ますアートワークに取り組みます。

行政がアートを通し、美術作家と距離感なく、話し合いを重ねている本事業。文化とは、人の精神活動を行き交うすべてのこと。公開制作という営みをとおり、豊島区が東アジア国際文化都市に決定するまでにご尽力されてきたこと、文化とは何かを体現していきたいと、植田は意気込んでいます。

本事業は、山手線の環状運行に合わせて大正14年に建設されたとされる「ウイロード」の構造物の老朽化が著しく、漏水が各所で見受けられること、公共地下道特有の「暗い、汚い、怖い」といったイメージを引きずっていることなどから、豊島区が、ウイロードをアートの世界にあわせて、漏水対策工事を行う取り組みです。2019年の東アジア国際文化都市に決定した豊島区。「東アジア文化都市2019豊島」の開催期間中の公開制作を目指します



美術作家 | 植田志保氏

1985年兵庫県生まれ。色に立脚した表現活動を軸に「色」の有機的な働きを捉えた作品群『色のすること』や、対話を通し個人の記憶や意識に潜む「色」を顕在化させる対話描画"ln a Flowerscape"をライフワークとして行うなど、多岐にわたる。

<https://shiho-ueda.com>

「豊島区長記者会見」開催のご案内

テーマ 植田 志保 「ウイロードの再生プロジェクト」について

2018年6月8日（金）、午後1:00より開催される豊島区長記者会見に、美術作家 植田志保も同席のもと「ウイロード再生プロジェクト」についてご説明をいたします。

ご参加いただける方は、info@how-pr.co.jp まで、媒体名、お名前、当日のご連絡先とともにご連絡ください。

1. 日時 2018年6月8日（金） 午後1時00分～
2. 会場 豊島区役所本庁舎8階 807・808会議室（南池袋2-45-1）
3. テーマ 「ウイロードの再生プロジェクト」について

豊島区役所 アクセス

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1. 電話. 03-3981-1111.

<https://www.city.toshima.lg.jp/chosha/access.html>

美術作家 植田志保氏と対話するウイロード改修事業説明会

2018年6月8日（金）、午後7:00より、区民の皆様、ご興味をお持ちくださる皆様とともに、ウイロードでの思い出・記憶などについて話し合う場を設けます。

植田志保が、対話を通して、色をイメージしていきます。

1. 日時:6月8日(金曜日)午後7時から
2. 場所:としまセンタースクエア(豊島区役所本庁舎1階)
3. 定員:300名
4. お申し込み 当日先着順受付

美術作家 植田 志保 に関するプレスお問合せ先

HOW INC. 小池

TEL. 03-5414-6405

FAX. 03-5414-6406

MAIL. pressrelease@how-pr.co.jp